

あかるいまち21

No.1298 2020年2月10日組員活動推進課 082-532-1264

	2月累計	2019年度
組員ふやし	27人	1216人
出資金ふやし	214万円	100,024万円
純増	121万円	7,014万円

サロン(居場所)の見学の報告です

奥村理事のお知り合いの方が利用しておられる、サロンドクリア(JR長束駅のすぐ裏手)に行ってきました。主催者は福場さんという、ケアマネを長くやってこられた方。実はワタミの有料老人ホームでケアマネとして働いていた時にスウェーデンで研修。この時の体験がベースにあり、多世代が交流できる場をつくろうと、このサロンを立ち上げたそうです。

福場さんの知り合いから格安で家を借り、社協のボランティアさんや、つながった社会資源としての業者がボランティアとして草ぼうぼうだった現地在を利用可能な状態にして下さったそう。

火・水・木をサロン。金を認知症カフェとして使用しており、認知症カフェには若年性認知症の方も利用しておられるとの事。他に子ども食堂もされて、多世代の方が交流し、心豊かにイキイキと輝ける暮らしの応援者となるために運営されているそうです。毎回のサロン参加者は7人から8人ぐらいで収支トントン。これからは裏に幼稚園があるので、そのママ達に来てもらい、ランチ会などもやっていきたいと話しておられました。



福場さん曰く「将来的にはこうした活動が新しいビジネスモデルになるのではないかと考えている。多世代が集い情報を共有していければと考えている」と言われていました。

左の写真はサロンの庭です。広いです。いろんな活用の仕方がありそうです。ここへの参加者もやはり女性ばかり。男性は一体どこにいるのでしょうか？



地域の居場所やってみよかな〜五日市支部お習字班



2/4(火)、五日市支部のお習字班にお邪魔しました。お習字班は、昨年できた新しい班で、班会会場が定まらずなかなか開催できなかったのですが、五日市支部の担当理事さんの古くからのご縁が重なり、古いアパートの一室を借りて定期開催が実現したとのこと。「古くからのご縁」というのは、アパートの大家さんとその一室をさおり織教室として週2日ほど借りていらっしゃる方がともに理事さんの古くからの知り合いだったそうです。折しも地域の居場所づくりを推進しているさなかでもあり、そのアパートの一室が生協の取り組む班会や居場所として活用できないかとの発想が「古くからのご縁」と見事に結びついたあっぱれ!の事例です。

その一室は、さおり織教室とお習字班の開催日以外に空いている日にちがたくさんあり、「ここで、地域の居場所的なものやってもいいね〜」と新たな意欲も。お習字班のKさん、H理事は、早くも居場所開設に向けてお手伝いいただけそうな方のお顔が浮かんでいるようですよ。今後の取り組みにどうぞ期待!!です。